

## 地熱発電事業計画書（記載要領）

### 1 発電事業の概要

以下の項目を示し、発電事業計画を明らかにすること。

（発電の以外の事業がある場合は、その事業計画についても記載する。）

①予定地：予定地の所在地，土地所有者

②発電規模：〇〇k w（発電機〇〇k w×〇基）

③既存坑井：既存の生産井の利用状況・噴出量・蒸気量，還元井の利用状況・還元量など。  
（坑跡図を添付する。）

④事業主体：会社名，代表者，住所

⑤総事業費：掘削工事，発電所建設等の総事業費

⑥資金調達：自己資金，資金借入先，調査方法など

⑦収支計画：初期投資（内訳を含む），年間売電収入額，ランニングコストの試算，キャッシュフローなど

⑧設備認定：固定価格買取制度の設備認定状況

### 2 当地で温泉掘削を計画し選定した理由及び根拠

地熱構造モデル，地熱流体流動モデル等を提示の上，当地で温泉掘削を計画し，選定した理由を示すこと。

### 3 発電事業の規模を決定した手順及び根拠

温泉の湧出量，揚湯量，温度などから発電事業の規模を決定した手順及び根拠を示すこと。

### 4 発電事業等のスケジュール

スケジュール表は年月で分けし，以下の項目等を記入すること。

事前調査，地元説明，掘削許可申請の時期，土地造成，掘削工事，噴気試験とモニタリング時期，還元井設置，発電所建設，売電開始時期，生産開始後のモニタリング時期など

### 5 発電利用後の温泉の処理

発電に利用した後の温泉の利用方法，処理方法等について具体的に示すこと。

### 6 排水計画及び還元井の設置計画

排水の処理計画及び還元井の設置計画について，その根拠等を含めて具体的に示すこと。

### ※ その他

その他事業に関して，参考となる事項がある場合はその内容を記載すること。